

GREEN LIFE

働く場所を選ぶのって、
生きる場所を選ぶってことかもしれない。

MAP

JAびほろと美幌町

WORK

JA職員の仕事

LIFE

JA職員の暮らし



ちょうどいい、 超ど田舎。

大変失礼いたしました。

道東にある美幌町は、

そこまで田舎じゃありません。

普段の生活はこの町で十分。

週末は車を少し走らせて、大型施設に買い物へ。

都会の通勤ラッシュも、

小さなまちの小さな組織。

少ない人数だからこそ

あなたしさが認められる場所です。

わたしたちの仕事は、食を守ること。

小さなまちではあるけれど、

日本トップシェアの農産物がいくつもあります。

この場所が日本中の「生きる」を支えているのです。

さあ、あなたもその仲間に加わりませんか。

自然に囲まれたこのまちで、

自分に合ったちょうどいい暮らし。

JAびほろなら、叶えられます。



自然とともに生きる仕事

総合企画推進室 室長 鹿野博志 さん



美 品の農産物をつかった加工品の開発や、新規事業の企画を担当しています。そのほかにも組合員さんと共に働く外国人実習生の採用や斡旋など、サポートをすることも。農業は、自然とともに生きる仕事でもあります。時には大変な災害に見舞われることもありますが、それをどう組合員さんと一緒に乗り越えるか考えるのも大切な仕事です。JAは異動があるたびに転職した?と思うくらい業務内容が変わる分、どの部署へ行ってもやりがいがあります。「何かを成し遂げる!」というより、「縁の下の力持ち」でありたいですね。



ボーナスが1年に5回!

管理課 大井沙彩 さん



現 在は総務部で給与関係を担当していて、前担当は営農部でした。この部署は組合員さんの仕事が落ち着くオフシーズンが忙しく、たくさんの相談をお受けしていましたね。元々美幌が地元で、安定した場所で働きたいなと考えてJAびほろに入組しました。実際に働いてみて、福利厚生の手厚さを感じています。ボーナスが1年に5回出る会社って、そんなに多くないですよね? (笑) 数字としてのノルマがあまりないのも、自分らしく働けるポイント。いい仕事をするためにはいいプライベートも大切だと思うので、ON/OFFの切り替えは大切にしています。



次は自分が後輩たちを引っ張る

貯金課 栗林莉乃 さん



窓 口で組合員さんや利用者さんのお金を取り扱う、貯金担当をしています。やっているお仕事内容は銀行を想像してもらえるとピッタリくるかもしれません。入金や出金、振込や税金支払の受付など業務は多岐に渡ります。入組して5年目、割と若手の職員だと思いますが尊敬できる先輩方に恵まれてお仕事をしています。今後結婚や出産をしたとしても、育休や産休を使って仕事に復帰したいなと思うくらいです。(笑)過去の先輩方が背中を見てくれたように、次は自分が先輩として後輩たちを引っ張っていけるような職員になりたいですね。



ライフイベントに寄り添う

共済課 大矢聖 さん

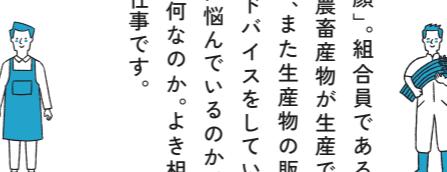


組 会員さん、利用者さんがより安心して暮らせるように共済商品を提供しています。いわゆる「保険屋さん」ですかね。窓口で相談に乗ったり、外回りで組合員さんに会いに行ったり。時には事故対応を行うこともあります。共済業務を担当してから感じるのは、やりがいよりも使命感。僕たちに相談していただくときは、ほとんどが結婚や車・家の購入、出産など大事なライフイベントを控えている時です。だからこそ、とにかく話を聞くこと。いまお客様にとって一体何が必要なのか、寄り添って一緒に考えられるように心がけています。



J A職員には、さまざまな職種と役割があります。そのどれもが組合員さんにとって欠かせない仕事であり、農業の一翼を担っているものです。だからこそ、どんな職種でもどんな場面でもやりがいを感じることができる。時には職種間で手を取りながら、今日は美幌農業のことを考え続けているのが私たちです。

一緒に育てる
JA農指導は「JAの顔」。組合員である農家さんがより良い農畜産物が生産できるように技術面を、また生産物の販売や経営についてアドバイスをしていきます。農家さんが何に悩んでいるのか、そして必要なものは何なのか。よき相談相手になることが仕事です。



経営を支える
農家さんが生産した農畜産物を集荷し、代わりに販売する仕事です。天候に左右されるこの仕事だからこそ、安定した供給ができるよう計画的な集荷と販売管理を行います。農家さんの生活を担っているお仕事ともいえます。

暮らしを守る
JA職員や利用者から貯金等を預り、貸し出しを行ういわゆる「銀行」のお仕事です。預かったお金を原資として、お金が必要な人に貸し出します。JAに関わる人すべての「生きる」を支えるお仕事です。

財産を守る
JA職員や利用者から貯金等を預り、貸し出しを行ういわゆる「銀行」のお仕事です。預かったお金を原資として、お金が必要な人に貸し出します。また、交通事故対策や災害救援・復興支援などJAならではの地域貢献活動にも取り組んでいます。

この場所で、働く。

生活を支える



農家さんが使用する肥料や農薬、農機具などの資材のほか、自動車の燃料や家庭用灯油など、生活中に欠かせない資源を提供する仕事です。より良い商品を安価に購入できるよう、メーカーにかけあつたり、不足とならないよう独自ネットワークを通じて安定的に確保します。

この場所で、生きていいく。

美幌町は広大な自然に囲まれながら、温かい人々と自分らしく過ごせるコンパクトシティです。登山やサップ、緑に囲まれたロケーションでキャンプもできるアウトドアの拠点。はたまた、車を約15分走らなければ女満別空港から旅行へひとつ飛び。思うがままの生活スタイルを選べるのが、このまちで暮らす魅力です。



栗林さん



井内さん

隣町にある北見市の社会人バレーチームに所属していて、週に1度仕事終わりの19時から練習を行っています。残業が多かったり、波がある仕事だとこういった時間は取れない。だから安定した勤務時間のJAで働いていてよかったなと思いますね。有給も取りやすいので、札幌などの遠方へ遊びに行くことも多々あります。プライベートの予定が組みやすくて、生活のリズムも整えやすいです。

もともと神奈川で働いてましたが、ひょんなことからJAびほろにきました。休日は友達にご飯や焚き火に誘ってもらったりします。趣味でカラオケをはじめたのですが、今では気のあったJAの同僚と一緒にライブをするようになりました。こういう人とのつながりが強いところは、田舎ならではですね。待遇もいいので、好きなときに東京に行って気分転換もできますよ。

JAびほろの職員は、仕事とプライベートをしっかり切り替えている人が多いのが特徴。勤務時間後に予定を入れたり、有給休暇も取りやすい環境です。休日はお家でゆっくり過ごす人もいれば、アクティブに活動する人も。仕事だけではない、「自分らしい」生活を送ることができる組織です。



休日は屈斜路湖でアウトドアを満喫!



「JAびほろに勤めてよかった」職員アンケート回答
ナンバーワンは、なんといっても「安定」。勤務形態や給与が安定している仕事だからこそ、結婚や子育て、マイホームの購入など人生設計を立てやすいのが魅力。長期的な目線でライフプランを考えることができます。



影山さん

美幌の郊外に家があって、自然に囲まれた場所なんです。いま家の敷地内に、日曜大工でログハウスを立てています(笑)3年くらいかけて建てて、そこには自分の趣味のものをたくさん置く予定です。こういった自由さ、自然の中で自分らしく生きられるのは美幌町ならではだと思います。スローライフと仕事を両立できるので、本当に「ちょうどいい田舎」という感じですね。



美幌町は自然に囲まれたまちだからこそ、ゆったりした時間の流れや環境の制限が少ない「スローライフ」を楽しむことができます。交通渋滞はほとんどなく、都会の喧騒とは離れた静かな暮らし。もちろん近隣の北見市・網走市から通うことも可能です。

休日は子どもたちの部活の試合を見に行ったりしています。もっぱら家族サービスの時間に当てていますね、家族がどう思っているかはわかりませんが... (笑)
JAという安定している仕事だからこそ、「いつ結婚する」「いつ子どもができるといいな」なんていうライフプランも立てやすかったです。美幌町は人口が少ない分、人と人との距離が近いし関係性が築きやすくてありがたいです。



尻高さん



びほろではたらく。



びほろでいきる。

